

**大阪維新の会 大阪府議会議員団
健康福祉常任委員会 委員長**

魚森ゴータローの府政報告

2025年大阪・関西万博が 大盛況のうちに閉幕!

府議会9月定例会で一般質問

大阪府議会9月定例会は、吉村知事提出の諸議案を可決して、10月20日に閉会しました。私は、この定例会の本会議において一般質問に立ち、府政並びに地域の諸課題について、府理事者と論戦を交わしました。その概要をご報告いたします。



吉村洋文知事



府政に関する相談やお問合せは
魚森ゴータロー事務所

〒534-0014 大阪市都島区都島北通2-17-2

☎ (06) 6167-9966



魚森ゴータローの一般質問

令和7年 9月定例会 (9月29日)

災害時における一時滞在施設の確保状況

Q 確保状況と市内における一時滞在施設確保に向けた取り組みについて併せて伺う。

A 京橋エリアの一時滞在施設として、先日開設した森之宮キャンパス(大阪公立大学)と調整しているところ。

要望 知事も大規模災害などの際、首都中枢機能を代替できる体制整備が必要と言っている。府有施設をはじめ一時滞在施設のさらなる確保に向け、取り組んでいただきたい。

府域におけるSAFの普及拡大

Q 廃食用油の回収を含めたSAFの推進に向け、これまでどのように取り組んだのか。今後どのように進めていくのか。

A 万博会場内のブルーオーシャンドームにおいて、民間事業者と連携して周知。府民が来場するイベントなどで広く周知し、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組む。

要望 他府県の先進事例等も取り込んで、SAFの普及拡大をめざして欲しい。
※SAF：廃食用油やバイオマス等を原料に航空燃料を製造する

大阪国際がんセンターにおける新たながん医療への貢献

Q 臨床研究や治験を円滑に進めるための取り組みについて伺う。

A 医薬基盤・健康・栄養研究所との共同研究により、生成AIを活用した対話型の疾患説明システムや臨床情報をリアルタイムで自動収集するシステムの構築にも取り組んでおり、新たながん医療をいち早く届けられるよう取り組んでいく。

提案 日本学術振興会の科学研究費助成事業、いわゆる科研費や日本医療開発機構による研究開発予算AMEDなど、採択の確度を更に上げていくことが、外部資金の調達、更なる優秀な人材、研究者ががんセンターへ集まることにつながると考える。

医療ツーリズムの取り組み

Q 取り組みの現状について伺う。

A 昨年度、多言語対応のホームページを開設、外国人旅行者が受診できる医療サービスや医療機関の情報提供のほか、海外からの相談に応じる対応を開始した。

要望 今年度以降は数値目標等を定め、また先進事例を研究するなど取組を進めていただきたい。

府立高校の内装リニューアル

Q 今後どのように進めて行くのか伺う。

A 全校への広がりについては、スピード感を持ちつつ、計画的に整備が進められるよう関係部局と連携し検討する。

要望 全ての府立学校(支援学校を含む)で内装リニューアル広げていただきたい。生徒たちが一日の大半を過ごす大切な場所である学校での環境を充実させるためにも是非お願いする。

万博レガシーとしての府立高校での取り組み

Q 産官学一体となった人材育成に取り組むべき。

A 万博に関わった大学や企業等と連携しながら、未来に必要な商品やサービスの開発に取組む探究プロジェクトを検討してまいる。

要望 万博で出展されたような先端技術を持つ企業や大学と連携し、大阪から世界に向けてイノベーションを起こす人材を育成していただきたい。

万博後のボランティアのあり方

Q 万博ボランティアが府内のイベント等で活躍できるよう取り組むべき。

A 万博推進局と博覧会協会が開設している専用ホームページにおいて、府内でボランティア活動を行っていただくための情報提供を検討する。

要望 万博ボランティアの登録人数は約3万人。ボランティアの盛り上がりを一過性とすることなく、引き続き府内で活動を行うための情報発信を効果的、効果的に行ってほしい。



健康福祉常任委員会

9月定例会では、10月6日及び10月8日に健康福祉常任委員会を開きました。委員長として公正かつ活発な委員会運営に努め、全委員と理事者間で真摯な議論が展開されました。

また、本委員会所管の福祉部及び健康医療部に関する事項については、閉会中も継続して調査することに決定しました。



大阪維新の会 大阪府議会議員 魚森ゴータローの府政報告

大阪・関西万博

来場者数

2,557万 8,986人

愛知万博、ドバイ万博を上回る

運営費収支

230億円～280億円

黒字となる見込み



開幕前には機運醸成のPRをミャクミャクと行いました



万博会場内でミャクミャクとリングを背景に記念撮影



阪神タイガースの「リーグ優勝記念パレード」で 維新議員が知事に質問

維新議員 パレードを実施する意義や思いについて知事に伺う。

吉村知事

阪神タイガースのプロ野球史上最速のリーグ優勝をみんなでお祝いしようとするもので、大阪・関西をさらに盛り上げ、大阪の都市魅力を広く全国に発信できると考える。パレードは簡単に実施できるものでもなく、悩むところもあったが、前回の参加された方の笑顔を思い返し、実施を決断。課題等あると思うが、やると決めた以上、しっかりと素晴らしいパレードをやりたいと思う。

要望

「阪神の優勝パレードをやってよかった」と言ってもらえるよう取り組んでいただきたい。

大阪の『知の拠点』として

9月10日

大阪公立大が森之宮キャンパス開設

キタとミナミに続く「ヒガシ」として開発が進む森之宮

大阪公立大学の森之宮キャンパスが9月24日に開設しました。

文学部や医学部などが入り、学生と教職員ら約6000人が集います。教室や研究室だけでなく、一般の人でも利用できる食堂や、大阪城を一望できる展望テラスも設けられていて、学生と地域住民らが交流できる開かれたキャンパスを目指しています。

2028年春ごろにはキャンパスの前に大阪メトロの新駅も開業する予定で、「キタ」や「ミナミ」に続く「ヒガシ」の拠点として期待されています。



新たに開設された大阪公立大森之宮キャンパス

吉村知事

大阪の東の拠点、知の拠点としてますます活躍することを期待している。



来賓と学生代表らによるテープカット（開校式典）

空飛ぶクルマ

ビジネス化推進に向けた 連携協定を締結

(9月10日)

大阪・関西から 空の移動革命を実現していく **吉村知事**

大阪府、大阪市、㈱Soracle（日本航空と住友商事の共同出資会社）の三者は、「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」での取組と、大阪・関西万博での空飛ぶクルマの取組の成果を、2027年の大阪・関西エリアでの空飛ぶクルマの商用化へと着実に繋げていくため、「空飛ぶクルマのビジネス化の推進に向けた連携協定」を締結しました。

(協定概要)

空飛ぶクルマのビジネス化の推進に向けた取組の充実を図ることを目的として、次の事項について相互に連携・協力する。

- (1)大阪を中心とする関西地域の空飛ぶクルマの運航ネットワーク形成に関する事項
- (2)空飛ぶクルマ関連ビジネスのワンストップ型展開支援に関する事項
- (3)救急医療、災害時における支援等に関する事項
- (4)その他、この協定の目的に資する事項

締結日：令和7年9月10日（水）

米アーチャー・アビエーション社の5人乗りの機体の使用を想定し、26年に府内で実証飛行を実施。安全審査などを経て、27年にも大阪湾周辺での遊覧飛行や二地点間飛行を開始する。



©Archer Aviation Inc.

Soracleが大阪・関西万博で展示した機体 M001 [Midnight]（日本国際博覧会協会のHPより）



左から 吉村知事、Soracle 佐々木敏代表取締役、Soracle 太田幸宏代表取締役、横山市長

万博 大屋根リング 200m保存 周辺を大阪市営公園に

大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」（1周2km）の閉幕後の活用に関する検討会が9月16日に開かれ、北東200mを人がのぼる原型に近い形で保存し、市が周辺の3.3haを公園・緑地として整備することで合意しました。

改修などに必要な費用については、市の支出に加えて、「大阪府の負担」や「国の交付金」「万博の収支が黒字になった場合の「剰余金」の活用を検討」するほか、「協力する企業を探す」としています。

吉村知事

「大きなレガシー」

原型に近い形で残るのは大きなハードレガシーになると思う。閉幕後、またリングにのぼって万博の時に見上げていた空と同じ空を見上げてもらいたい。

横山市長

「うれしく思う」

200mを都市公園として残していく方針が固まったことをうれしく思う。この場所で万博が行われたというレガシーを感じてもらえる施設になると思う。